

【シンポジウム開催案内】

公共施設は誰のもの！ 市民の知恵を活かすには！

2019年8月24日（土）10：00～15：00

要旨

近年多くの自治体において、既存施設の老朽化や機能低下が進み、公共施設の機能集約や複合化の再整備事業が行われています。これらの事業推進にあたっては、従来の行政主導による基本構想や基本設計、実施設計の進め方では問題が噴出しています。今回のシンポジウムでは各分野の専門家を講師に招き、VEワークショップ等を活用し、最小のコストで市民が満足する価値ある社会資本の整備のあり方を考える場と致します。関係者の皆様のご参加をお待ちしております。

- ★ 会場 藤沢商工会館ミナパーク 6階ホール（藤沢駅北口から徒歩3分）
- ★ 参加者 一般市民、行政関係者、設計事務所、建設工事会社等（定員100名）
- ★ 参加費 第一部無料、第2部1,000円（資料代）
- ★ 申込方法 Eメール又は電話で下記にてお申し込み下さい（8/22締切）
- ★ 主催 地方自治体まちづくりシンポジウム実行委員会
- ★ 後援 公益社団法人日本VE協会、公益社団法人日本建築積算協会

第1部 午前の部 10：00～12：00 「ワークショップ活動の本質を学ぶ」

- 1 基調講演 10：00～10：20 「公共事業は誰のもの」 上野VM研究所長CVS
- 2 活動報告 10：20～10：30 「施設利用市民代表として」 石田近隣自治会長
10：20～11：00 「住民ワークショップの検証」村山研究会代表
- 3 事例紹介 11：00～11：10（先進自治体の市民ワークショップ活動の紹介）
- 4 全体討論 11：10～12：00（会場参加者を交えた討論）

★ 第一部のみご参加の方は12：00で閉会となります。

第2部 午後の部 13：00～15：00 専門講師によるパネル討論会

テーマ「これから公共施設整備と市民参加のあり方」

- パネリスト 地域計画実務者 井原満明氏（株）地域計画研究所 代表
自治体推進担当者 石垣俊幸氏（静岡県危機管理監代理）
価値工学研究者 松田節夫氏（国際バリュー・スペシャリスト）
建築設計実務者 村山純二氏（1級建築士）
建築コスト実務者 清水建宏氏（建築コスト管理士）
コーディネーター（進行司会） 上野 孝氏（日本VE協会 参与）

■参加申込方法：氏名、所属、連絡先をご記入の上、下記までお申し込み下さい。

申込者には詳細プログラムをEメールで配信させていただきます。

電話：090-3427-3491 E-mail：cvsueno@wind.ocn.ne.jp

「地方自治体まちづくりシンポジウム実行委員会」事務局

以上